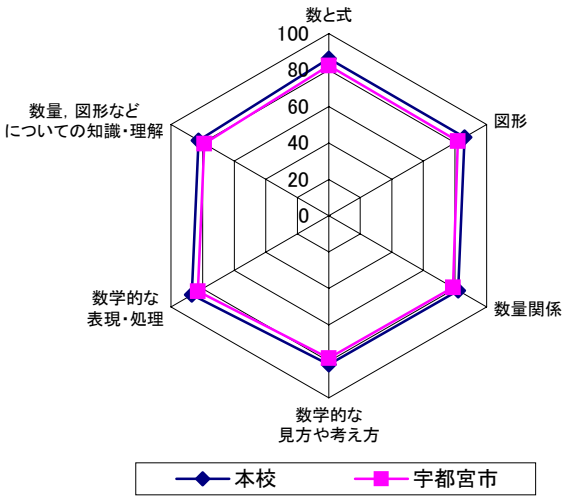
宇都宮市立上河内中学校第３学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	86.3	82.4
	図形	86.1	81.8
	数量関係	82.1	78.7
観点別	数学的な見方や考え方	81.8	78.3
	数学的な表現・処理	86.9	82.9
	数量，図形などについての知識・理解	82.6	78.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (86.3%)	市と比較すると3．9ポイント上回っている。多項式の展開、因数分解、平方根、2次方程式については全体的に身についているといえる。特に解の公式を使う問題の正答率、は市よりも大きく上回っていた。	今年度も継続して、計算問題に取り組ませる時間を多くもち、習熟を図ってきた。数学的な見方や考え方を必要とする問題にも十分対応できるように、今後も発展的な内容にも取り組ませていきたい。
図形 (86.1%)	市と比較すると4．3ポイント上回っている。三角形の相似については、どの問題も正答率が80%を超えており、図形についての理解はほぼ満足できる状況である。	基本的なことは理解できている生徒が多いので、さらにそれをもとに証明の力を高めるような指導を続けていきたい。理解が不十分な生徒に対しては、角度を求める問題などを、定理を意識しながら解かせることで、図形の理解を図りたい。
数量関係 (82.1%)	市と比較して3．8ポイント上回っている。2乗に比例する関数の問題は正答率がほぼ80%を上回っていた。関数についての理解はほぼ満足できる状況である。	関数の意味について再度復習させ、表、式、グラフの関係をしっかり理解させていきたい。さらに具体的な場面で変数の間の関係を表や式、グラフに表すことで、身の回りの事象を関数的にとらえて、それを利用できるような力を身につけさせたい。